

財務省第13入札等監視委員会 令和6年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和6年9月26日(木) Web会議方式により実施	
委員	塚本 晃大 (塚本晃大法律事務所 弁護士)	
	朝田 とも子 (熊本大学 法学部 准教授)	
	山西 佑季 (熊本県立大学 総合管理学部 准教授)	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年6月30日	
抽出案件	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	0件	—
随意契約(公共工事)	1件	契約件名 : 令和6年度熊本県内合同宿舍給排水設備その他修繕工事(単価契約) 契約相手方 : 株式会社本山設備 法人番号 : 5330001004672 契約金額 : @22,000円(税込)ほか 契約締結日 : 令和6年4月1日 担当部局 : 九州財務局
競争入札(物品役務等)	3件	契約件名 : 令和6年度本格焼酎のフランス向けプロモーション事業に係る運営業務委託 契約相手方 : 株式会社フリーマン 法人番号 : 3040001066389 契約金額 : 総価契約分14,298,200円(税込)、単価契約分@87,500円(税込) 契約締結日 : 令和6年5月21日 担当部局 : 熊本国税局
		契約件名 : 広報展示室用展示台等の製作等 契約相手方 : 株式会社コラボ 法人番号 : 9360001010697 契約金額 : 4,378,000円(税込) 契約締結日 : 令和6年4月17日 担当部局 : 沖縄地区税関
		契約件名 : システム等の開発及び運用支援業務 契約相手方 : キヤノン電子テクノロジー株式会社 法人番号 : 3010401089133 契約金額 : @38,940円(税込) 契約締結日 : 令和6年4月1日 担当部局 : 沖縄国税事務所
随意契約(物品役務等)	0件	—
うち応札(応募)業者数 1者関連	1件	契約件名 : システム等の開発及び運用支援業務 契約相手方 : キヤノン電子テクノロジー株式会社 法人番号 : 3010401089133 契約金額 : @38,940円(税込) 契約締結日 : 令和6年4月1日 担当部局 : 沖縄国税事務所
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	以下のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事例1】 契約件名 : 令和6年度熊本県内合同宿舎給排水設備その他修繕工事(単価契約) 契約相手方 : 株式会社本山設備 法人番号 : 5330001004672 契約金額 : @22,000円(税込)ほか 契約締結日 : 令和6年4月1日 担当部局 : 九州財務局</p> <p>・同時期実施の類似事例が一般競争入札にて落札された一方、本件が不落となった要因についてご説明いただきたい(熊本県の工事契約額があがっているのか)。</p> <p>・物価上昇等を踏まえ、今後応札額が上昇することに対する対応策如何。</p> <p>・県内の宿舎を一括して発注せず、遠隔地など地域ごとに分割発注することはできないか。</p> <p>・本契約は、定期的に実施する工事のための契約か。</p>	<p>・1回目の開札の結果、予定価格を下回る入札が無く不落となったため、2回目を実施したところ、1者は辞退し、残る1者についても、指定の時間内に入札書の提出がなかったため、入札を終了することとなった。入札終了後のヒアリングにより、相手方に応札の意思があったことから、後日、当該相手方と随意契約のための見積合わせを行い、提出された見積書は予定価格の範囲内であったことから、契約を締結した。 また、応札価格の背景について、管内の合同宿舎各所修繕工事単価契約の入札結果をみると、他県(大分、宮崎、鹿児島)に比べ、この数年熊本県は総じて落札率が高い傾向が認められる。この傾向について、要因の特定は難しいものの、最近の県内における建設需要を背景とした人件費や資材の高騰などを踏まえ、業者としての採算性を考慮した応札姿勢が反映された結果ではないかと推察している。</p> <p>・人件費については、国土交通省発表の労務単価の上昇を加味するとともに、資材価格についてもヒアリングを実施するなど市場価格の把握に努め、引き続き実勢価格を反映した予定価格の積算に努めたい。</p> <p>・遠隔地のみで契約した場合、発注件数が少なく、応札する業者がないことが想定されることから、県内の宿舎を一括して契約している。</p> <p>・本契約は、入居中の宿舎における突発的な故障などに迅速かつ効率的に対応するために単価契約を行っているものである。</p>
<p>【事例2】 契約件名 : 令和6年度本格焼酎のフランス向けプロモーション事業に係る運営業務委託 契約相手方 : 株式会社フリーマン 法人番号 : 3040001066389 契約金額 : 総価契約分14,298,200円(税込) 単価契約分@87,500円(税込) 契約締結日 : 令和6年5月21日 担当部局 : 熊本国税局</p> <p>・具体的な業務内容を説明してほしい。</p> <p>・落札率が高い(100%)理由は何か。</p> <p>・短期間での効果測定は難しいと考えるがどのように実施しているのか。</p> <p>・地理的表示の認知度向上という海外向け事業だが、国内での向上も必要ではないか。</p> <p>・今回、「GI球磨」、「GI杵岐」の2つに決定した経緯は何か。</p> <p>・予定価格の決定方法に問題はなかったのか。</p> <p>・業務に精通している通訳の手配となっていないが、業務効果は担保できるのか。</p>	<p>・海外における本格焼酎の地理的表示の認知度向上及び販路の拡大に向けて、フランスで開催される展示会に「GI球磨」及び「GI杵岐」の商品を出展し、現地のバイヤー等と酒類事業者との海外商談会を実施するために必要な業務を委託する契約である。</p> <p>・市場価格等を念査しつつ、特定の業者から徴取した見積書の金額を適正価格と判断した上で予定価格に採用したため、見積書提出業者がその同額で落札したことで、契約業者となったことから、落札率が高い結果となってしまった。</p> <p>・委託業者から提出される報告書を基に、本事業における参加事業者数、商談数、成約見込数等を把握し、効果測定及び効果検証を行っている。</p> <p>・国内においても各種施策を行っているかと聞いているが、ご意見は関係部署へお伝えする。</p> <p>・地理的表示に係る酒造組合に対して参加を案内したが、方向性の相違や商談方法に馴染まないなどの理由により、結果、2つの関係酒造メーカーを対象とした募集となった。</p> <p>・海外での事業運営や業務内容の特殊性等から、予定価格の積算・算出に苦慮したのは事実であるが、予定価格の算出及び決定については、適正であったと考えている。 なお、今回のように苦慮するような発注業務によっては、公募やオープンカウンター方式による実施も検討していきたいとも考えている。</p> <p>・イベント等に精通した経験の有した通訳者の手配が望ましいが、手配に苦慮することも想定されるとともに、参加する酒造メーカーと商談者との通訳ができることで、対応できると想定しており、担保できていると考えている。</p>

意見 ・ 質問	回 答
<p>【事案3】 契約件名 : 広報展示室用展示台等の製作等 契約相手方 : 株式会社コラボ 法人番号 : 9360001010697 契約金額 : 4,378,000円(税込) 契約締結日 : 令和6年4月17日 担当部局 : 沖縄地区税関</p> <p>・展示台にて展示するものは具体的にどのようなものか。</p> <p>・広報展示室への1日あたりの見学者数はどのくらいか。</p> <p>・見積価格と落札価格に開きがあるが理由は把握しているか。</p> <p>・現在の展示台の使用年数及び状態はどのようなものであるか。</p>	<p>・有名ブランドのバッグや靴等のコピー商品、ワニのはく製や象牙の印鑑等のワシントン条約対象物品、不正薬物等の模造品等を展示する予定であり、現在も展示中である。見学者にこれらの物品が日本への持ち込みが禁止、または制限されていることを理解していただくためのものである。</p> <p>・来場者数は把握していないが、現在の広報展示室は民間テナントビルの3階にあるため一般の方が立ち入りづらい状況であり、見学者も現在は少数である。しかし那覇第2地方合同庁舎3号館への庁舎移転後は立地、展示場所も好条件であるため来場者の増加が期待できる。</p> <p>・落札業者へヒアリングしていないため理由は不明であるが、入札による価格競争の原理が働いたためと思われる。</p> <p>・現在の展示台は平成9年に配備されたものであり、木製であることから経年劣化による枠のゆがみ、塗装の剥がれ、ガラス面のくすみが見られ、展示物の鑑賞に支障が出ている。</p>
<p>【事案4】 契約件名 : システム等の開発及び運用支援業務 契約相手方 : キヤノン電子テクノロジー株式会社 法人番号 : 3010401089133 契約金額 : @38,940円(税込) 契約締結日 : 令和6年4月1日 担当部局 : 沖縄国税事務所</p> <p>・どのような業務内容か。</p> <p>・一者応札となったとなった要因は何か。</p> <p>・高落札率となった要因は何か。</p> <p>・独自で調達するのではなく、全国で統一したシステムを開発・調達すべきではないか。</p>	<p>・沖縄国税事務所においてシステムの開発や運用の支援等を行うものである。開発したシステムは、不具合を含めメンテナンスを行うとともに、税制改正等があった場合には、必要に応じて改修なども行っている。</p> <p>・業務に特殊性・専門性があるため、1者応札となったと考えている。業者へのヒアリングから緩和できる要件等があれば仕様書を見直し、1者応札を改善させていきたい。</p> <p>・複数回の再度入札を実施しているため、結果的に落札率は高くなったと考えている。</p> <p>・地域の特性に合わせたシステム開発も必要であるため、独自で調達している。他の国税局と重複したシステムを開発しないよう調整は行っており、利便性の高いシステムは各国税局にも展開されている。また、システム開発以外にも、システムの安定的な稼働を実現するため、運用・メンテナンス業務にも重きを置いている。</p>